

「交替劇」各研究班 代表者各位

A02 班研究協力者の林 耕次（神戸学院大学 PD）です。

「交替劇」A02 班 第 3 回班会議・共同研究会（3/29-30）の告知をさせていただきます。

各班の関係者（招待研究者含む）にご周知頂けるでしょうか。

なお、ご参加される方は、事前に林までお知らせ頂けると幸いです。

3 月 29 日（木）と 30 日（金）の 2 日間にかけて、明石駅近くのホテルにて開催いたします。

出席される方は、各自で宿泊の予約をお急ぎくださいませ。

【グリーンヒルホテル明石】 ※会議室が会場になります。

<http://gh-hotel.co.jp/akashi/>

【明石キャッスルホテル】 ※会場の近くです。

<http://www.a-castle.com/akashi/>

問い合わせ先：

林 耕次

神戸学院大学 PD・A02 研究協力者

090-1951-1621

=====

新学術領域研究「交替劇」

A 0 2 班 2 0 1 1 年度 第 3 回班会議・共同研究会

日時：

2012 年 3 月 29 日（木）13:00 - 18:00

2012 年 3 月 30 日（金）9:30 - 12:30

会場：

グリーンヒルホテル明石 2 階八千代の間

（明石市大明石町 2-1-1 JR 明石駅より徒歩 4 分）

<http://gh-hotel.co.jp/akashi/>

プログラム：

【第3回 班会議】3月29日（木）13:00-14:20

議題：

1. 2011年度の成果について
  2. 2012年度の予定について
- 第5回「交替劇」研究大会（4/14-16）, 「国際シンポジウム」（11/18-23?）など
3. その他

【第3回 共同研究会】3月29日（木）15:00-18:00

（研究発表①）

「精霊の誕生・自然の人格化による環境適応」

竹川大介（北九州市立大学・文学部）

発表概要：狩猟採集や器用仕事の実践や学習、知識伝達の際に特徴的にみられる対象（自然）の人格化が、認知の経済化という形でヒトの進化論的な環境適応に寄与しているということと、そうした特殊な認知には心の理論や他者とのコミュニケーション能力が応用されているのではないか。発表では、たとえば「精霊」と呼ばれるような、こうした「仮想の自然」の扱われ方や性質について検討する。

キーワード：

- 在来知・近代知
- 類比・暗喩・相関性・類似性
- ブリコラージュ・実践共同体
- さしかえる・なじませる・よりそう
- 動的平衡・相互行為・コミュニケーション
- 自己覚知・意思・擬人化・錯覚・経済性
- 身体性・模倣・反復・日常経験・ソーシャルスキル

（研究発表②）

「バヌアツ共和国ツツナ島における社会交渉」（仮）

木下靖子（北九州市立大学・社会システム研究科 大学院生）

【第3回 共同研究会】3月30日（金）9:30 - 12:30

（研究発表③）

「カメルーン東部州におけるバカ・ピグミーの出生力と人口移動」

-2012年2-3月期予備調査の報告-

萩野 泉 (北海道大学大学院・保健科学研究院 大学院生)

(研究発表④)

「バカ・ピグミーの身体装飾の学習」(仮)

彭 宇潔 [Peng Yujie] (京都大学・大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 大学院生)

=====